

平成 31 年度（令和元年度）事業報告書

平成 31 年度年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 女性福祉センター

1 事業の成果

DV の緊急避難者に対して、同行支援（行政機関や専門機関等への相談時に同行）・生活支援（暴力被害の後遺症からの回復支援等）を行いました。また、DV や虐待など暴力の後遺症による生き辛さからの回復に関する相談・助言などを行いました。電話等でも相談を受け付け、人生をより良い方向へ転換するお手伝いを行いました。

フレンドリーシェアハウスでは、暴力被害者への生活支援として、共に生活をしながら、炊事、洗濯、掃除といった基本的な生活と規則正しい習慣を身に付け、前向きに明るく将来を描けるように支援しました。また自立支援として、ショップ・ペルシーモの仕事を通して、自立に結び付く経験ができるよう支援を継続しました。回復した若者 3 人がしくみ委員会を発足し、自らの体験や回復、成長、学び、気づきなどを SNS で発信し、多くの共感を得、その有益な回復情報を書籍化するために基盤を整えました。また、女性の自立と笑顔で生活を送るために、講演会、勉強会、リラクゼーション教室、手作りガラスアクセサリーのワークショップなどのイベントを開催しました。

また、活動の理解を得て、解決に向けて支援者の輪を広げていく考え方であるファンドライジングを学び、これからの指針や方向性を得ることができました。

2 事業の実施に関する事項

| (ア) 定款の事業名 | (イ) 事業内容 | (ウ) 実施 日時 | (エ) 実施 場所 | (オ) 従事者 の人数 | (カ) 受益対象 者の範囲 及び (キ)人数 | (ク) 事業費 の金額 (千円) | 活 動 の 詳 細 |
|---------------------------------------|-------------------------|-----------------|-----------------|-------------------|------------------------------------|---------------------------|---|
| ①代替エネルギーに関する調査、研究、開発、開発物の普及と啓蒙事業 | エコパワープロジェクトの推進 | 未実施 | | | | | |
| ②自然回復のための土地活用に関する調査、研究、開発、開発物の普及と啓蒙事業 | 放置されたお茶の木（20本ほど）を整備し、茶の | 5月 | 島根県 | 4人 | 一般市民 10人/回 | 1 | ・放置されたお茶の木を整備し、茶の葉を採取した。その茶葉を、美味しいお茶にするために研究した。蒸してから、炒ることにより、香りも味 |

| | | | | | | | |
|--|--|-------|-----|----|---------------|----|--|
| | 葉を採取 | | | | | | も良い緑茶になった。 |
| ③自然循環に関する調査、研究、開発、開発物の普及と啓蒙事業 | キクラゲの菌床を使った土づくり | 3回 | 島根県 | 4人 | 一般市民 10人/回 | 1 | ・栽培が終了した菌床キクラゲの菌床を、田畑に入れることにより、良い土壌を作ることができた。肥料を使わなくても味の良い甘みうま味がある野菜が収穫できた。 |
| ④健全な心身育成のための、調査、研究、各種教育とイベントを含む振興事業 | ・U・Iターナー者へ吉賀町の暮らしの魅力を伝える | 7月～9月 | 島根県 | 7人 | 一般市民 25人 | 10 | ・体験パンフレットを作り、10名の方に農業体験や、柿木村の名所案内、ヨガやリラクゼーション、空き瓶ガラスを焼き直してアクセサリーを作るワークショップなどの田舎暮らしを体験して頂いた。鶏のお世話や、その鶏の命をいただくことを通して、自然の恵みへの感謝も学びとした。パンフレットのデザインは自前で行った。 |
| ⑤循環型生産物の調査、研究、開発、開発物の普及と啓蒙活動及び生産を通じた雇用拡大事業 | 何度も交配した植物が食料となることを研究。種の取り方を含む野菜の生産を学ぶ。 | 通年 | 島根県 | 7人 | 一般市民 多数 | 1 | ・のらっ葉と名をつけた、かぶ、大根、小松菜、レタスなどが自然交配した葉物野菜植物が安定して育っている。庭や畑どこでも、植えていないのにしっかり育つ、便利野菜。味も安定して良く、煮ても炒めても美味しい食材になった。 ・名古屋コーチンと土佐九斤（とさくきん）によるF1鳥の研究を開始した。 |

| | | | | | | | |
|---|---|------------------|------------|----|---------------|-----|--|
| ⑥食料調達と食に関する調査、研究、開発、開発物の普及と啓蒙事業 | 食べられる野草の研究 | 3回/年 | 島根県 | 7人 | 一般市民 10人/回 | 1 | ・野草をお茶にしたり、食べてみた。また野草を、庭や畑に移植して増やして活用した。よもぎ、オオバコなどの野草を採取し、ペーストにしたり、冷凍や乾燥にした。パン生地に練りこみ焼く作業を行い、試食した。美味しく健康に良いものができた。 |
| ⑦国内外の関連団体との連絡及び協力事業 | 島根被害者サポートセンターボランティア | 通年 | 島根県 | 2人 | 一般市民 1人/回 | 10 | ・被害者サポートセンターボランティアスタッフの勉強会に参加。認定をいただいた。 ・事務局長と定期的に連絡をとり、連携を図れるようにした。 |
| ⑧目的を達成するために必要な、公開講座・講演会等の開催 | ・講演会の開催 ・ヨガ・リラクゼーション講座 ・マストラ会・ペルシーモ会の開催 | 随時 1回/月 随時 | 島根県 | 7人 | 一般市民 6人/回 | 150 | ・以下のテーマで講演会研修会を企画実施した。 「若者の成長と組織作り」 「基本と応用をについて」 ・月一、マストラ会（ランチ会＋子育て相談など）ペルシーモ会（希望により、ヨガ、ガラスアクセサリーづくりのワークショップ＋カフェ）開催。その他、親子で楽しむ企画等を行い実施した。 |
| ⑨保険、医療又は福祉の増進を図るために、介護職人等へのボヤロビクス講座の開催とその推進事業 | ボヤロビクス講座 | 随時 | 福岡県 島根県 | 7人 | 一般市民 多数 | 35 | ・福岡から講師を呼び、「日本古武術から学ぶ正しい身体の使い方」講座を行った。 ・シェアハウス内のスタッフでボヤロビクスを行っている。いつでもお |

| | | | | | | | |
|--|-------------|----|------------|----|------|-----|--|
| | | | | | | | お客様に来ていただけるように訓練した。 |
| ⑩障害者の日常及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障がい福祉サービス事業 | | | | | | | |
| ⑪女性と子どもの権利を守る事業 | 施設運営 | 通年 | 島根県 福岡県 | 7人 | 一般市民 | 520 | <ul style="list-style-type: none"> ・避難者の経済支援（生活費・奨学金返済）を行った。 ・今までは公開できなかった活動も、社会貢献のために、情報発信を心がけた。フレンドリーシェアハウスの若者3人（暴力から逃れ後遺症を克服し学びを深める3人）がしくみ委員会を発足した。自らの経験を貴重な情報としてブログにて公開。読者数がどんどん増えた。支援の輪をひろげていくために、島根県のNPO活動推進室開催のファンドレイジング勉強会に参加し学んだ。 |
| ⑫女性の自律と自立のための支援と人材育成事業 | 勉強会 農業体験 | 通年 | 島根県 | 7人 | 一般市民 | 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・若者3人で運営するしくみ委員会が、毎日、ミーティング、勉強会を実施。毎日の学び、気づき、失敗や成功も他人事にせず共有できるように支援を行った。 ・料理支援（基本をしっかり学び、日々改善し、応用まで行えるようになるよう指導した。 ・農業を通して、癒しと自立を実現する支援を |

| | | | | | | | |
|--|------------------------|----|------------|----|----------|-----|---|
| | | | | | | | 行った。 |
| ⑬幸せな結婚、 出産、育児、社 会的自立に関する 啓蒙事業 | 講演会 勉強会 出版 | 通年 | 島根県 | 7人 | 一般市 民 | 70 | <p>・若者3人で企画運営するしくみ委員会が毎日、有益な回復情報をブログにて発信した。暴力の後遺症を乗り越えた過程や、学んだこと・気づいたこと等。今苦しんでいる人に届くよう、希望を持ってもらえる内容となった。これを書籍化するために、専門家に入ってもらい、進んでいる。</p> <p>・小冊子「あつという間に成長する心の習慣」を必要な人に送付。相談にのる等の支援を行った。</p> |
| ⑭生き辛さを抱 える人のための 電話相談事業 | 電話やメ ール等による相談 業務 | 通年 | 島根県 | 3人 | 一般市 民 | 110 | <p>・HPを改善（専門家に入っていた）。文字情報だけでなくビジュアル訴求により、利用者に非常に読みやすく、利用しやすい頁に。ホームページ訪問者に対して、電話やメールなどさらなる個別相談につなげるための導線強化した。全ページをスマートフォンに完全対応など行い、相談しやすい改良を行った。</p> |
| ⑮関係諸機関と の連携・協力を 進めるための事 業 | 同行支援 連絡会議 | 通年 | 島根県 福岡県 | 4人 | 一般市 民 | 20 | <p>引き続き、DV被害者の状況を、被害者の会社へ伝えたり、児相、警察への連絡を続けた。必要に応じて関係各所に同行する支援を行った。</p> |

| | | | | | | | |
|------------------------------|---|-----------|--------------------|------------|-------------|------------|--|
| <p>⑩この法人の目的を達成するために必要な事業</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・書籍化 ・HP ・ブログ ・メルマガ ・パンフレット ・会報(年2回発行) | <p>通年</p> | <p>島根県 福岡市</p> | <p>10人</p> | <p>一般市民</p> | <p>300</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ファンディングを学び、ブログ、パンフレット、会報などを整えた。デザインは自前で行った。 ・HPリニューアルは専門家に入ってもらい改良を行った。 ・ブログで発信している有益な回復情報を書籍化するにあたり専門家に入ってもらい基盤を整えた。 |
|------------------------------|---|-----------|--------------------|------------|-------------|------------|--|